



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月4日  
東

上場会社名 オルガノ株式会社 上場取引所  
コード番号 6368 URL <https://www.organo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正幸  
問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 安藤 実 (TEL) 03-5635-5111  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	127,729	10.4	26,112	32.2	26,249	31.6	17,999	28.9
2025年3月期第3四半期	115,698	8.9	19,746	39.1	19,939	33.7	13,965	36.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 18,149百万円( 31.4%) 2025年3月期第3四半期 13,813百万円( 20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	391.51	—
2025年3月期第3四半期	303.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	207,152	130,737	63.1
2025年3月期	194,396	121,194	62.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 130,737百万円 2025年3月期 120,947百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	71.00	—	89.00	160.00
2026年3月期	—	95.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	95.00	190.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	175,000	7.2	36,000	15.7	36,000	13.8	27,000	11.8
								587.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 - 社 (社名) 、除外 1 社 (社名) PT Lautan Organo  
Water

詳細は、添付資料 8 ページ「当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料 8 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	46,359,700株	2025年3月期	46,359,700株
2026年3月期3Q	377,149株	2025年3月期	393,638株
2026年3月期3Q	45,974,958株	2025年3月期3Q	45,968,768株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、役員向け株式交付信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数 (四半期累計) の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～12月31日）における世界経済は、全体としては緩やかな回復傾向にあったものの、米国の関税政策をはじめとする各国の保護主義的な政策動向や地政学リスクの高まりによる影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の主力市場である電子産業分野においては、生成AI関連の旺盛な需要を背景に先端半導体関連の設備投資が活発に推移しております。一方で、EV（電気自動車）の需要低迷などにより、車載向けの半導体などは回復が遅れております。医薬品・食品・電子周辺分野などの一般産業分野や、電力・上下水などの社会インフラ分野においてはメンテナンス需要を中心に堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは国内外の大型プロジェクトの受注・納入活動を進めるとともに、グローバルでのエンジニアの採用・育成などを通じた生産・納入キャパシティの拡充、デジタルを活用した業務効率化によるエンジニアリング体制の強化、事業戦略と連動した技術開発や知財戦略の推進、顧客接点の強化に向けた国内外拠点・ネットワークの再整備など、各種施策を進めております。また、人的資本の強化、サステナビリティやガバナンスの高度化、基幹システムの刷新など、経営基盤の強化にも取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、受注高129,421百万円（前年同期比9.7%増）、売上高127,729百万円（同10.4%増）、営業利益26,112百万円（同32.2%増）、経常利益26,249百万円（同31.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益17,999百万円（同28.9%増）となり、繰越受注残高は106,982百万円（同8.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[水処理エンジニアリング事業]

#### ■受注高

受注高は前年同期比10.8%増となる109,623百万円となりました。電子産業分野においては、台湾、米国、欧州で大型の半導体向けプロジェクトを受注したことに加え、設備保有型サービスや各種メンテナンスなどのソリューション案件も好調に推移したことから、受注高が増加しました。一般産業分野においては、前年同期に大型案件の受注があった反動により受注高は減少したものの、各種メンテナンスなどのソリューション案件は好調に推移しました。社会インフラ分野においては、主に火力発電所のプラント案件を受注したことなどから、受注高は増加しました。

#### ■売上高

売上高は前年同期比12.2%増となる108,760百万円となりました。電子産業分野においては、台湾、米国において先端半導体関連の大型案件が順調に進捗したことに加えて、日本においても前年度以前に受注した大型案件が進捗しました。さらに設備保有型サービスや各種のメンテナンスなどソリューション案件も好調に推移したことから売上高が増加しました。一般産業分野及び社会インフラ分野においては、ソリューション案件などを中心に堅調に推移した結果、売上高は前年同期並みとなりました。

#### ■営業利益

営業利益は前年同期比37.6%増となる23,350百万円となりました。電子産業分野を中心に売上高が拡大したことに加えて、比較的収益性の高いソリューション事業の売上が増加しました。さらに、好採算のプラント案件が順調に進捗したことや、収益改善の取組み及び原価低減による利益率の改善があったことなどから、営業利益が増加しました。

[機能商品事業]

■受注高・売上高

受注高は前年同期比4.3%増となる19,797百万円、売上高は同1.0%増となる18,968百万円となりました。食品分野において低採算取引の整理を進めた影響があったものの、小型純水・超純水製造装置や電子材料の高度分離・精製向け機能材の販売が伸長したほか、水処理薬品やフィルタも受注・販売が総じて好調に推移したことから、前年同期並みの受注高・売上高を確保しました。

■営業利益

営業利益は前年同期比0.6%減となる2,762百万円となりました。電子産業向けの水処理薬品や機能材など比較的利益率の高い製品の売上が伸長したことや、食品分野の低採算取引の整理により売上総利益率が改善したものの、人件費など販管費が増加したため営業利益は対前年同期比で若干減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ12,755百万円増加し、207,152百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が5,540百万円、リース投資資産が3,932百万円減少したものの、現金及び預金が5,317百万円、棚卸資産が13,345百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3,213百万円増加し、76,414百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が4,514百万円減少したものの、短期借入金が5,857百万円、長期借入金が3,320百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9,542百万円増加し、130,737百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金9,532百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年10月31日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。受注高につきましては、大型案件の受注時期が変動する可能性があります、概ね想定通りの進捗となっております。売上高及び各利益につきましては、十分な受注残高が確保できており、各案件の工事進捗も大幅な遅れは生じない見込みであることから、前回発表予想を据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,751	22,069
受取手形、売掛金及び契約資産	79,450	73,910
電子記録債権	4,502	4,645
リース投資資産	35,512	31,579
商品及び製品	8,010	8,834
仕掛品	11,169	21,947
原材料及び貯蔵品	3,345	5,089
その他	5,719	7,865
貸倒引当金	△94	△91
流動資産合計	164,367	175,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,937	20,405
減価償却累計額	△13,992	△14,235
建物及び構築物（純額）	5,944	6,169
機械装置及び運搬具	7,298	7,277
減価償却累計額	△6,206	△6,345
機械装置及び運搬具（純額）	1,091	932
土地	12,437	12,360
建設仮勘定	690	1,164
その他	7,078	7,236
減価償却累計額	△5,726	△5,955
その他（純額）	1,352	1,280
有形固定資産合計	21,516	21,908
無形固定資産	1,120	1,615
投資その他の資産		
投資有価証券	2,373	2,656
退職給付に係る資産	2,260	2,367
繰延税金資産	2,391	2,413
その他	505	479
貸倒引当金	△138	△139
投資その他の資産合計	7,391	7,777
固定資産合計	30,028	31,301
資産合計	194,396	207,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,438	18,924
電子記録債務	4,648	3,600
短期借入金	18,877	24,735
未払法人税等	5,042	4,777
契約負債	2,564	5,004
賞与引当金	2,161	1,206
製品保証引当金	1,349	1,283
工事損失引当金	34	33
役員株式給付引当金	103	67
その他	6,180	4,600
流動負債合計	64,401	64,234
固定負債		
長期借入金	3,680	7,000
繰延税金負債	25	46
退職給付に係る負債	4,984	4,963
その他	110	170
固定負債合計	8,799	12,180
負債合計	73,201	76,414
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	100,982	110,514
自己株式	△746	△639
株主資本合計	115,969	125,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256	310
為替換算調整勘定	3,397	3,584
退職給付に係る調整累計額	1,323	1,232
その他の包括利益累計額合計	4,978	5,127
非支配株主持分	246	—
純資産合計	121,194	130,737
負債純資産合計	194,396	207,152

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	115,698	127,729
売上原価	78,438	82,076
売上総利益	37,259	45,652
販売費及び一般管理費	17,513	19,540
営業利益	19,746	26,112
営業外収益		
受取利息	97	171
受取配当金	29	14
為替差益	80	—
持分法による投資利益	76	88
その他	105	85
営業外収益合計	389	360
営業外費用		
支払利息	185	201
為替差損	—	3
その他	11	17
営業外費用合計	196	222
経常利益	19,939	26,249
特別利益		
固定資産売却益	4	4
投資有価証券売却益	724	88
関係会社株式売却益	—	40
特別利益合計	728	132
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	9	9
特別損失合計	9	9
税金等調整前四半期純利益	20,659	26,373
法人税等	6,674	8,373
四半期純利益	13,985	17,999
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,965	17,999



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	13,985	17,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△530	50
為替換算調整勘定	432	198
退職給付に係る調整額	△72	△90
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△9
その他の包括利益合計	△171	149
四半期包括利益	13,813	18,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,789	18,149
非支配株主に係る四半期包括利益	24	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当社は、2025年4月11日に連結子会社であったPT Lautan Organo Water（以下「LOW」）の株式の一部を、合併相手であるPT Lautan Luas Tbkの子会社であるPT Lautan Air Indonesiaに譲渡いたしました。

本株式譲渡に伴い、LOWは連結子会社から持分法適用関連会社となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,342百万円	1,436百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,915	18,782	115,698	—	115,698
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	270	271	△271	—
計	96,916	19,053	115,969	△271	115,698
セグメント利益	16,967	2,778	19,746	—	19,746

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	108,760	18,968	127,729	—	127,729
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	296	296	△296	—
計	108,761	19,264	128,026	△296	127,729
セグメント利益	23,350	2,762	26,112	—	26,112

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。